

広報

おおす

2025

1

No.240

令和7年1月11日 大洲市は二十歳に！



合併20周年を迎えて

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成17年に4市町村が合併し誕生した新大洲市は、早いもので今年の1月11日に合併20周年を迎えます。この10年の大洲市を振り返りますと、愛顔^{えがほ}つなぐえひめ国体の開催や市内全域への光ファイバ網の整備、そして、地域の歴史的資源を活用しながら保全する持続可能な観光まちづくりが国内外から高く評価され、大洲市の知名度が飛躍的に向上するなどさまざまな出来事がありました。

一方で、平成30年7月7日には西日本を中心に広範囲にわたる記録的な豪雨により、肱川流域の風景を一変させる過去に経験のない甚大な被害が発生し、市民の皆様と共に「がんばろう大洲！」を合言葉に、「チームおおず」で一丸となって復旧・復興に取り組んでまいりました。全国の多くの皆様から温かいご支援を賜るとともに、国土交通省並びに愛媛県のご尽力により、激特事業による堤防^{かさ}の嵩上げや築堤など、河川改修事業が集中的に実施され、治水安全度が高まるとともに復旧・復興事業につきましては概ね完了^{おおむ}いたしました。また、新型コロナウイルス感染症により、従来の生活のあり方や、経済、労働、教育、地域活動など、様々な分野や社会システムにおいて、大きな転換点となりましたが、新たな出発点にもなりました。さらに、学校施設の耐震化、空調設備の整備やALTの増員など教育環境の整備、18歳までの子ども医療費や第2子以降の保育料の無償化など子育て支援策の拡充にも取り組むことができました。

現在、大洲市におきましては、急速な人口減少と少子化、生産年齢人口の減少が進行していますが、未来を担う子供たちが夢と希望を抱き、ふるさとを誇りに思うまちづくりを推進してまいります。肱川の豊かな自然や地域資源を活用したかわまちづくりのほか、市民文化会館も令和11年度の供用開始を目指して準備を進めています。

また、昨年6月に策定した長浜港内港埋立事業基本計画に基づき、内港を埋め立てて約8.4haの土地を造成し、道の駅やスポーツ・レクリエーション施設、老朽化した公共施設を集約した複合公共施設などを整備する事業を推進します。

さらに、山鳥坂ダム建設の本格化に伴い、山鳥坂ダム・鹿野川ダムの2つのダム湖を中心とした地域の資源をどう活用するか、叡智^{えいち}を集めて地域振興ビジョンを検討してまいります。

大洲市には、豊かな自然や歴史・文化など世界に誇れるたくさんの地域資源がございます。それぞれの地域の元気が、大洲市全体の活性化につながりますので、引き続き市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「乙巳(きのと・み)」にあたり、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を表しています。本年が市民の皆様にとりまして希望に満ちた実り多き一年となりますよう心から祈念申し上げます。

大洲市長 二宮 隆久



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

新市が誕生して20年が経過した今、思い起こせば本市は多くの変革と成長を遂げてまいりました。特に昨年は持続可能な観光の国際的認証機関であるグリーン・デスティネーションズが認証する「世界の持続可能な観光地アワード」にて大洲市がシルバーアワードを受賞するなど、本市のまちづくりが世界から評価をいただいたところでございます。

現在、市内外や県外の方々をはじめ、海外からも多くの方々に来訪いただくほか、各種団体からの視察も増えており、本市の取り組みが今後の地域経済の活性化や市民生活の向上など、大洲市発展の礎になるものと期待をしているところです。

一方、この10年を振り返りますと多くの困難な時期がありました。平成30年7月豪雨災害では5名の尊い命が失われ、また、住家や事業所の浸水被害が約4,000棟にも及ぶなど過去に経験のない甚大な被害を受けたことは未だ鮮明に記憶に残っております。さらに約3年間にわたって猛威を振るった新型コロナウイルス感染症への対応、南海トラフ地震臨時情報の発表による

地震災害への危機感の高まりや備えなど、新たな対策に奔走した時期もありました。しかしながら私たちのまちは、これら困難に対し地域が丸となって様々な困難を乗り越え、より強く、よりしなやかに成長を遂げてまいりました。

これからの10年間、あるいは20年間では、少子高齢化社会の進展と、今後確実に見込まれる人口減少という大きな難題に対処していかなければなりません。本市では自然減にとどまらず社会減も深刻となっています。人口減少に歯止めをかけるためにも、1次産業の振興や2次産業の活性化、また、企業誘致による雇用の確保は喫緊の課題と言えます。

市議会としまして、今まで以上に多くの市民の皆様の声を聞き、地域の実情を細かく捉え、何が今必要なのかを吟味し、市政へ反映できるよう取組むとともに、未来を担う若者の声をどう市政に届けることができるのかを検証し提言していきたいと考えております。二元代表制の一翼を担う市議会として、市長と常に緊張感を保ちながらも、共に未来を見据えこれからの行政課題に対して真摯に向き合っていくことが市民福祉の向上や市政の発展に繋がるものと考えています。

これまで大洲市議会では、タブレット端末を取り入れたDX推進を図るとともに、昨年には議員定数の削減という決断を行ってまいりましたが、今後も市民の皆様のご期待に応えるために、議員一人ひとりが、自ら自己研鑽に努め、さらなる議会改革へ誠心誠意全力を傾注してまいりますので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして幸せで実り多く、さらなる飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



大洲市議会議長 村上 松平

20年を振り返って

新しい大洲市がスタートしてはや20年。
写真とともに振り返ってみましょう。



合併調印式（平成16年5月）



江口洋介さんらが市役所訪問



「ぐるりんおおず」運行開始



「愛たい菜」オープン



学校給食センター完成



彩風咲奈さん きらめき大使に

平成17
(2005)

1月 1市2町1村（大洲市、長浜町、肱川町、河辺村）
が合併し、新しい大洲市が誕生

2月 大森隆雄市長 初登庁

11月 新大洲市誕生記念式典
大洲市の花木「ツツジ」に決定

18
(2006)

9月 大洲市・滋賀県高島市友好交流調印式

12月 映画「となり町戦争」出演者 江口洋介さん・原田知世さん、渡辺謙作監督が市長を表敬訪問

19
(2007)

7月 大洲市こども議会開催

20
(2008)

1月 西田司さん大洲市名誉市民称号贈呈式

5月 大洲市肱北浄化センター通水式

11月 大洲ロケ映画「ぼくのおばあちゃん」公開

21
(2009)

1月 循環バス「ぐるりんおおず」運行開始

1月 大洲市立図書館落成式

9月 清水裕市長 初登庁

22
(2010)

4月 たいき産直市愛たい菜オープン、市民サービス
センター開所

23
(2011)

3月 O級ご当地グルメキャラクター「O級くん」決定

5月 臥龍山荘「2011年ミシュラン・グリーンガイド・ジャ
ポン」一つ星に選定

12月 大洲喜多休日夜間急患センター開設

24
(2012)

7月 大洲ええモンセレクション認定書交付式・認定品発表会

8月 大洲市学校給食センター落成式

25
(2013)

12月 新造船「あおしま」竣工

26
(2014)

8月 大洲城復元10周年記念式典

10月 中村修二さん ノーベル物理学賞受賞

10月 彩風咲奈さん、松本零士さんにきらめき大使を委嘱

12月 長浜大橋 国の重要文化財に指定



日本三大いもたきサミットin大洲



伍代夏子さんが観光大使に



えひめ国体カヌースプリントには
大洲高校からも多数の選手が出場

大洲復興冬花火大会
これ以降大洲の冬花火が
定番に



5代目肱川橋が開通



大洲イノベーションセンター (OIC)

平成27
(2015)

1月 合併10周年記念式典

1月 たきのえいじさん、かとうれい子さんにきらめき大使を委嘱

9月 日本三大いもたきサミットinおおず開催

28
(2016)

3月 えひめいやしの南予博2016 開幕

7月 臥龍山荘の3棟（臥龍院・不老庵・文庫）が国の重要文化財に指定

9月 少彦名神社参籠殿 ユネスコ アジア太平洋文化遺産保全賞2016 最優秀賞受賞

29
(2017)

1月 伍代^{なつこ}夏子さん 肱川あらし観光大使に

9月 愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体開催

30
(2018)

5月 二宮^{たかひさ}隆久市長 初登庁

7月 平成30年7月豪雨

8月 地域DMO 一般社団法人キタ・マネジメント発足

31
(2019)

1月 大洲復興冬花火大会

3月 鹿野川ダムトンネル洪水吐初通水

令和元
(2019)

7月 平成30年7月豪雨災害大洲市追悼式

2
(2020)

7月 大洲城キャッスルステイ開始

7月 肱川かわまちづくり（第1期）登録伝達式

3
(2021)

5月 新型コロナウイルスワクチン接種開始

10月 臥龍山荘庭園 国の名勝指定

4
(2022)

3月 新肱川橋が開通

4月 えひめ南予きずな博がスタート

9月 大洲市が「世界の持続可能な観光地2022 TOP100選」に

5
(2023)

3月 グリーン・デスティネーションズ ストーリーアワード
ITBベルリン 文化・伝統保全部門世界1位受賞

10月 ねんりんピック愛顔のえひめ2023開催

6
(2024)

4月 市内全域でコミュニティセンターがスタート

4月 大洲市官民共創推進拠点施設「OIC」オープン

5月 武内^{とうこ}陶子さんにきらめき大使を委嘱

7
(2025)

1月 大洲市は合併20周年を迎えます

未来に向かって

いままでの20年。これからの20年。

大洲市と同じ二十歳の二人、そして地域みなさんに大洲への思いを聞かせてもらいました。

どこにも負けない大洲の魅力をPRして

小学校入学時は学年に自分一人しかおらず、1歳下の弟と2人のクラスだったこともあり友達を作るのが得意ではありませんでしたが、統廃合により4年生で肱川小学校に通うようになったことで、たくさんの人とつながれるようになりました。

中学3年の時に豪雨災害で学校が被災。お世話になった自衛隊や警察、消防のみなさんに憧れ、大洲で人を助けられる仕事に就きたいと思うようになりました。その中でも一番地元寄り添うことができると思い、昨年度から大洲地区広域消防事務組合で消防士として働いています。

大洲はどこにも負けないくらい自然が豊かで人が温かい。最近では新しいお店も増えて買い物や飲食などの面でも生活しやすい環境が整ったまちだと感じます。大洲の魅力や住みやすさをもっと知ってもらい、若い人が増えてくれるといいと思います。



山下 ^{ななと}虹斗 さん



窪地 ^{ゆい}結衣 さん

人の温かさと自然、伝統を大切に

平成30年7月豪雨災害の時に活躍する赤十字の看護師さんたちを見て、看護師を目指すようになりました。現在は帝京第五高校の看護科に通いながら看護師の国家試験に向け勉強中です。実習では大洲の病院にも行きました。毎日、患者さんとお話したり病院スタッフのみなさんと共に患者さんへのケアを行ったりする中で、改めて大洲のみなさんの温かみを感じました。

大洲の魅力は、とにかく自然が豊かなこと。私は山間部に住んでいるのですが、今の楽しみは家の周りにすむ鳥たちとのふれあいです。毎朝10羽ほどのヤマガラがやってきて、朝は窓をつつく音で起こされます。手のひらに乗ってヒマワリの種をついばむ姿に癒される毎日です。

最近は人口が減って地域の行事が少なくなったと感じます。牛鬼など伝統的な行事がずっと守り続けられる大洲であってほしいです。

かがやく地域を子供たちへ

「長浜未来協議会（通称：ミライズ）」を立ち上げて約1年が経ちました。後継者不足や耕作放棄地に悩む農業を盛り上げたいという気持ちで地域の若手農家を中心にスタートし、現在では地元の企業と商品開発などでコラボレーションするなど横のつながりも増えてきて、少しずつではありますが関係者を含めてみんなの熱気が高まっているのを感じています。

私たちのスローガンは「いきいきと輝く誇れる長浜を次世代へ」。いま大洲市は注目度が高まっている時期にあると思います。この長浜地域も長高水族館が人気ですし、内港埋め立て事業による道の駅整備にも期待しています。これからもしっかりと情報発信を続けながら、未来を担う子供たちにいつまでも住み続けたいと思える地域を残してあげたいですね。



津田 ^{しゅんたろう}俊太郎 さん



甲畑 ^{もも}桃 さん

いつでも夢を語れるように

3児の母として忙しい毎日を送っていますが、私の住む地域には児童館など子育て関連の施設が多くあり、気軽に利用できたこともあって、サポートを受けながら充実した子育てができていると感じます。

私自身も市外の児童施設で働いていて、たくさんの子供に関わる中でそれぞれの個性に応じた接し方をもっと良いものにしたいと、以前に学んでいた保育の勉強を再びスタートすることを目標にがんばっています。こんな夢や目標を大人や社会人になっても話せることは大事だと思いますし、そういった環境であるように子供たちに接しています。

これからも子供たちがのびのびと自分らしく育つことができ、夢を語り合えるふるさとであってほしいと思っています。

未来のためにみんなが集う場を

私たちの住む河辺地域は、高齢化と人口減少が著しく、地域の役員などの担い手不足が課題となっています。

しかし、河辺には「本当の田舎」ならではの良いこともたくさんあります。例えば、静かで自然が豊かなことや朝晩の温度差が大きく質のいい農産物ができることです。そんな環境の中で何か一つでも魅力のあるものを作り出すことができれば、地域を存続していけるのではないかと考えています。夏は涼しく過ごしやすいため、空き家を改修して短期滞在

の若い人を呼び込むとか。

また、今後ダム建設関係の道路工事が完成すれば交通の便も良くなり、風景も変わってくるのではないかと思います。それをうまく利用して何かできないか…地域を良くするためのアイデアはたくさん浮かんできます。

私たちだけでなく住民のみなさんそれぞれが地域の未来について考え、アイデアを持っていると思います。それらを持ち寄り、みんなで気軽に集える場を作り出せればと考えています。



長岡 ^{もりみつ}盛光 さん



中津 ^{ひろふみ}博文 さん



岡崎 ^{しげる}茂 さん

現在、大洲市は、人口減少や少子高齢化によるさまざまな課題を抱えています。

しかし、お話を伺うとみなさんそれぞれが自分の住むまちに愛着を持ち、

未来に希望を持っていることが強く伝わってきました。

思い描く未来はそれぞれ違っても、同じまちで暮らすみんなと一緒に前を向き、

10年後、20年後もきらめき続ける大洲を目指していきましょう。